

● ハンドブックより（一部抜粋）

1、【開催日程】

- ・ 24 日：TCM      ・ 25 日：K2 男子・女子 GSL      ・ 26 日：K2 男子・女子 SL
  - ・ 27 日：TCM      ・ 28 日：K1 男子・女子 GSL      ・ 29 日：K1 男子・女子 SL
- （2026 年 3 月 24 日(火)～29 日(日)）

2、【開催場所】 ぬかびら源泉郷スキー場(北海道河東郡上士幌町)

3、【実施種目】 K2 カテゴリー（中学校 1 年生～高校 1 年生早生まれ）：GSL、SL

4、【出場資格】 K2

- (1) 本大会に出場する選手は所属するブロックの予選に出場しなければならない
- (2) 各ブロックに割り当てられたエントリー数内で、各ブロックで選抜された競技者※1
- (3) 前年度本大会 K2 カテゴリーにおいて各種目 10 位以内に入賞した選手
- (4) 当該シーズンの全国中学校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
- (5) 2010 年生まれで当該シーズンの全国高校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
- (6) 当該シーズンの全日本ジュニアスキー選手権(SG)で 10 位以内入賞者
- (7) 当該シーズンの強化指定 D の選手
- (8) 前年度大会 K1 カテゴリーにおいて各種目 5 位以内入賞者（中学校 1 年生が対象）
- (9) 開催地特別枠で、K2 に 3 名（男女各）

※1. SAJ ポイントリスト No.7（12 月 2 日発行）での競技者登録数を基に算出

5、【出場選手選考方法（共通）】

- (1) 選考は、概ね 2 月中旬より、3 月初旬までに決定する。
- (2) 出場資格は 2 種目同一選手を推奨とする。
- (3) 選考方法は各加盟団体及び各ブロックで決定し、シーズン前に周知する
- (4) 加盟団体およびブロック参加枠については、SAJ 競技者登録数に応じて按分する。

6、【K2 ブロック予選について】

- (1) 各ブロックは予選会としてレースを開催すること。
  - (2) ブロック予選は各種目(SL・GS・SG)1 レースまでとし、そのレースは出場制限の対象としない。
- ※他ブロックの予選会レース出場について制限対象となる。

- (3) 選考方法は各ブロックが決定し、シーズン前に周知する。

例) 総合成績、各種目上位者、総合成績と種目別上位者の組み合わせ、1 レースで 2 種目等

(3) 参加枠の使い方について

- ① ブロック参加枠を加盟団体に割り振ることはできない。
- ② 2 種目同一選手を推奨とするが、ブロック内の合意で最終決定し周知する。

(4) ブロック予選会が中止などの場合

- ① 予選会が中止になった場合の選考方法は各ブロックで決定する。
- ② その方法はシーズン前にブロック内に周知する事。

(5) 個別参加有資格者がブロック予選の欠場を認めるケース

- ① SAJ 主催の強化合宿および遠征に参加の場合、高校選抜大会に出場の場合、加盟団体が派遣するレースに出場の場合（国民スポーツ大会・海外ユースレース）
- ② 怪我などにより出場できない場合でアルペン委員会が認めた場合  
選手 申請書と診断書を加盟団体強化担当者に提出

↓

加盟団体強化担当者 ブロック担当強化委員に提出

↓

ブロック担当者 アルペン委員会強化小委員会に提出

↓

強化小委員会 確認の後 アルペン委員長に報告・承認

↓

強化小委員会からブロック担当者に報告

※ブロックレース開催後の事後承諾は認めない。

## ● 東北ブロックの場合

### 1、【東北ブロックの選考（K2）について】

#### (1)選考レース

・ S A J 公認 2 0 2 6 雫石ユースアルペンスキー大会 2/21 GS 2/22 SL

#### (2)選考方法(東北ブロック 男子○名 女子○名)

① G S ・ S L それぞれの種目毎の順位で選考する。上位から東北ブロックに割り当てられた人数で選考する。（個人出場権利者の順位は含まない）

②出場枠内にて同タイムがあった場合や出場枠の最終順位者が同タイムの場合には0.001秒まで出して順位を決定する。それも同タイムの場合にはビブの遅い選手を出場枠の優先とする。

#### (3)レースキャンセルの場合

① 1 レースでも成立したレースは、そのレースの順位で2種目合わせて選考する。

例：GS 成立、SL キャンセル。GS の結果で2種目を選考。

② 2 レースともキャンセルの場合は、各種目で学年毎の S A J 競技者登録数（東北ブロック全体）の割合で人数を割り振る。その後、S A J ポイント順に上位から選考する。（2月22日締め切り S A J ポイントリスト N O 1 4 を採用）

※GS レースの成立は、2025/2026 SAJ 特別ルール（2025 年 12 月 1 日版）に則り、U16 の GS レースは2本レースを以って成立となる。ICR901.1.4

※SL は従来通り2本で成立。

### 2、【その他】

(1) 2025/2026 J O C ジュニアオリンピックカップ 2025 全日本ジュニアスキー選手権大会に出場する選手は所属するブロックの予選会（S A J 公認 2 0 2 6 雫石ユースアルペンスキー大会）に出場しなければならない。

(2) 強化指定 D 選手、当該シーズンの全国中学 10 位以内選手、前年度 K2 入賞者等、個人出場権利者もブロック予選に出場しなければならない。

(3) 開催会場の状況により岩手高原スノーパークへの会場変更もあり得る。

(4) 2025/2026 J O C ジュニアオリンピックカップ 2025 全日本ジュニアスキー選手権大会に出場を見合わせる選手がいた場合には速やかに各県ユース担当者まで連絡すること。

(5) 2025/2026 J O C ジュニアオリンピックカップ 2025 全日本ジュニアスキー選手権大会のエントリーは各加盟団体にて行う。

(6) 2 レースキャンセルの際の計算の例（2024/2025 シーズンの大会の場合）

#### ●男子 S A J 競技者録者数

・ 青森県 3 年 6 人、2 年 5 人、1 年 5 人

・ 岩手県 3 年 14 人、2 年 14 人、1 年 9 人、高 1 年 1 人

- ・宮城県 3年 7人、2年 12人、1年 8人、高1年 1人
- ・秋田県 3年 6人、2年 5人、1年 9人
- ・山形県 3年 7人、2年 14人、1年 13人、高1年 1人
- ・福島県 3年 10人、2年 10人、1年 14人、早高1年 1人

●男子学年別登録者

3年 50人、2年 60人、1年 58人、高1年 4人 (5:6:5.8:0.4→17.2)

●振り分け人数 (22名÷17.2=1.279)

3年  $1.279 \times 5 = 6.4 \rightarrow 6$ 人   2年  $1.279 \times 6 = 7.7 \rightarrow 8$ 人   1年  $1.279 \times 5.8 = 7.4 \rightarrow 7$ 人

高1年  $1.279 \times 0.4 = 0.5 \rightarrow 1$ 人 (6 + 8 + 7 + 1 = 22人)

●女子SAJ競技者録者数

- ・青森県 3年 6人、2年 6人、1年 5人、高1年 2人
- ・岩手県 3年 7人、2年 5人、1年 5人、高1年 1人
- ・宮城県 3年 5人、2年 7人、1年 9人、高1年 1人
- ・秋田県 3年 3人、2年 6人、1年 6人、高1年 1人
- ・山形県 3年 5人、2年 6人、1年 3人、高1年 3人
- ・福島県 3年 3人、2年 7人、1年 7人、高1年 1人

●女子学年別登録者

3年 29人、2年 37人、1年 35人、高1年 9人 (2.9:3.7:3.5:0.9→11)

●振り分け人数 (13名÷11=1.18)

3年  $2.9 \times 1.18 = 3.422 \rightarrow 4$ 人   2年  $3.7 \times 1.18 = 4.366 \rightarrow 4$ 人   1年  $3.5 \times 1.18 = 4.1 \rightarrow 4$ 人

高1年  $0.9 \times 1.18 = 1.06 \rightarrow 1$ 人 (4 + 4 + 4 + 1 = 13人)